

わくわく登園 にこにこ降園



2月の園だより



薩摩川内市立ひわき幼稚園令和6年度2月号



頑張ったね！



一生懸命な姿は
かっこいい

ひわき幼稚園どんぐりmarathon



最後は親子
でどんぐりを
数えます！

パパ参上！
一緒に走り
ました



1回目の延期は…雨、2回目の延期は…雪。天候に悩まされたどんぐりマラソンでしたが、やっとできました！気持ち良い晴天とはいきませんでしたが、絶好のマラソン日和でした。

ところで！みなさんは子どもの頃、持久走大会って好きでしたか？実は、ほとんどの子どもたちが「持久走大会」はあまり好きではありません。小、中学生になると「なくなればいいのに。」と思っている子もいます。それでも、幼稚園、小学校、中学校、高校と毎年、持久走大会はあります。なぜ、持久走大会はなくなるのでしょうか？

小学校の話になりますが、小学校の学習指導要領ではこのように書かれています。

低学年では、「無理のない速さでかけ足を2～3分間続けること。」高学年では、「時間やコースを決めて行う全身運動として、無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること。」

これらを踏まえて、学校では次のようにとらえて実施しているのです。

①持久走を日常生活に積極的に取り入れることで、体力向上を図る。

②持久力の向上で集中力が高まり、運動面だけではなく学習面への効果も期待できる。

③自分の体力レベルに合った、目標や課題が設定でき運動する楽しさを味わうことができる。

そう考えると！ひわき幼稚園で実施している「どんぐりマラソン」はその目的にバッチリあっている行事と言えます！今回も自分の体調や体力に合わせて、一生懸命走ることができました！やっぱり！一生懸命な姿はかっこいいですね！



今年も来ました！節分の鬼！

不思議に思う心を！



幼稚園のみんな、
おどかしてごめんね。
赤鬼より



「なぜだろう…」「どうして？」日々の生活のなかで、子ども達はたくさんの不思議と出合っています。「なぜ氷は冷たいの？」「なぜ雪は白いの？」こうした不思議から興味・関心が広がり、好奇心につながり、考える力が育ちます。不思議って大人になると見えなくなってしまうのかも。でも子どもの目にはキラキラ輝いて見えているのかも。不思議に思う心を育てていきたいですね。

3月の保育計画

3歳児

- ・ 自分らしさを発揮し、いろいろなことに意欲的に取り組みながら、進級への期待感をもつ。
- ・ 身近な自然の様子や春の訪れを感じる。

4歳児

- ・ 進級への期待感をもちながら、目的をもっていろいろな活動に取り組み、楽しさや充実感を味わう。
- ・ 身近な自然の様子や春の訪れを感じる。

5歳児

- ・ 1年生になる喜びや自覚をもちながら、友達といっしょに最後の園生活を楽しむ。
- ・ 春の気配に気付き、季節の移り変わりを感じる。